

WHO ファクトシート

ポリオ

Poliomyelitis

2017年4月

重要な事実

- ・ポリオ(急性灰白髄炎)は、主として5歳未満の子どもが罹患する。
- ・感染者のうち1/200では回復不能の麻痺が起きる。それらの麻痺患者の内、5%から10%では呼吸筋が動かなくなり死亡する。
- ・ポリオの症例は、1988年には推計35万例であったが、2016年には37例の報告となり、比較すると99%以上の減少となった。ポリオ撲滅に向けた世界的な努力の結果として、1600万人の人々が麻痺から救われてきたのである。
- ・感染した子どもが一人でもいるかぎり、全ての子どもたちにもポリオ罹患のリスクがある。常在国からポリオを根絶することに失敗すれば、10年以内に全世界で毎年最大20万例の新規発症につながる可能性がある。
- ・地球規模の効果的な監視と予防接種システムの構築努力により、ほとんどの国において、他の感染症への対処能力が高まっている。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますの

で、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Poliomyelitis ファクトシート原文は [こちら](#)